

令和3年度第1回知多市総合教育会議議事録

招集年月日 令和3年11月19日

招集場所 知多市役所多目的会議室

開 会 午後1時25分

閉 会 午後2時40分

出席者 市長 宮島 壽 男
教育委員会 永井 清 司
加古 三津代
石井 久 子
山田 直 行
腰嶋 正 誉

要綱第5条第2項に基づく者

副市長 立川 泰 造

企画部長 細川 賢 弘

企画情報課長 小屋敷 浩 司

事務局

教育部長兼学校教育課長 加藤 由 裕

生涯学習課長 石川 義 章

指導主事 大西 博

荒尾 敏 雄

学校教育課 濱野 和 江

山本 泉

石井 信乃介

生涯学習課 杉江 麻 衣

傍聴人 なし

議 題 (1) コミュニティ・スクールについて

(2) GIGAスクール構想について

そ の 他

加藤教育部長

みなさま、こんにちは。

ただいまから、令和3年度第1回知多市総合教育会議を開会いたします。

お手元に配付してあります、「令和3年度第1回知多市総合教育会議次第」をご覧ください。会議の開催にあたり、市長からあいさつをお願いいたします。

宮島市長

みなさま、こんにちは。市長の宮島でございます。教育委員会のみなさまにおかれましては、知多市の教育に日々ご尽力いただき、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、教育現場では、修学旅行や林間学校が延期となるなど、授業や行事の実施にご苦労されていることと思います。

さて、9月の市長選挙の際には、6つの政策の柱を掲げ、その中の1つに「次世代を担う子どもたちを育む教育環境づくり」を掲げております。その中でも、「支援が必要な児童・生徒へのきめ細かな対応」「小中学校のトイレ洋式化、特別教室・体育館の空調整備」「コミュニティ・スクール設置による地域と学校との協働の推進」「ICTによる児童・生徒の情報活用能力の育成」の4つを重要施策として位置づけ、時代の変化とともに多様化する教育現場のニーズに、的確に対応してまいります。

本日は、「コミュニティ・スクール」と「GIGAスクール構想」を議題とさせていただきます。限られた時間ではありますが、みなさまから忌憚のないご意見をいただけたらと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

加藤教育部長

ありがとうございました。それでは、これからの会議の進行につきましては、知多市総合教育会議の運営に関する要綱第5条に基づき、議長を市長をお願いいたします。

議長：宮島市長

それでは、知多市総合教育会議の運営に関する要綱に基づき議長を務めさせていただきます。議題の(1)「コミュニティ・スクールについて」の協議をお願いいたします。それでは、教育委員会から説明をお願いします。

加古委員

それでは、資料1「知多市が目指すコミュニティ・スクールについて」をご覧ください。コミュニティ・スクールに先行する制度として、学校評議員制度があります。この制度は、平成12年4月から施行されており、学校教育法施行規則に基づく地域住民の学校運営への参画の仕組みです。知多市におきましても、平成24年度に要綱を制定し、この制度を導入しており、市内各校につき3名委嘱しています。学校評議員の役割としては、「1.保護者や地域住民等の意向を把握し反映すること」「2.保護者や地域住民等の協力

を得ること」「3. 学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと」を定めています。学校評議員は、地域の有識者や関係機関の代表者、保護者などから委嘱しています。この学校評議員制度よりさらに「地域とともにある学校」への転換を図るために平成16年に定められたのが学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）です。

平成29年4月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「地教行法」という。）が改正され、すべての公立学校への学校運営協議会の設置が努力義務とされました。この法律に基づいて本市においても教育委員会規則を制定し進めようとしています。

学校運営協議会の主な機能としては、「1. 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」「2. 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる」「3. 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる」があげられます。具体的には、学校の教育目標や学校経営計画、教育課程の編成、予算の編成・執行に関する内容なども議論の対象となります。教職員の任用に関しては教育委員会規則で定めることとなっていますので、任用に関しても教育委員会に意見を述べるができます。

地教行法上のコミュニティ・スクールの構成メンバーにつきましては、「地域の住民」これは資料では「コミュニティ会長」を例示しておりまして、「保護者」は「PTA会長」となっております。3つ目に「地域学校協働活動推進員」と記載しています。これは、社会教育法の規定により、地域住民その他の関係者が学校と協働して行うものが「地域学校協働活動」で、この活動の推進に熱意と識見を有する者から教育委員会が委嘱した方となります。この「地域学校協働活動推進員」がコミュニティ・スクールの要となる人です。「その他教育委員会が必要と認める者」として、「有識者」「各種団体の長」「放課後こども教室コーディネーター」を一例として示しています。

このような学校運営協議会のメンバーと教育委員会、学校、地域との関係を示したものが「2 実施体制」の図です。まず、学校において、学校運営の基本方針について定めて、これを学校運営協議会に示し、「承認」を与えていくということになります。学校については、これだけの体制を整えるためには、受入態勢の整備が必要となります。学校運営協議会は年3回の開催を予定しています。図では、その下に地域学校協働本部と連携・協働と示していますが、「地域学校協働活動推進員」が中心となって、緩やかな連携の体制を整えながら、地域とも様々な関係を深めて学校と連携していきます。

説明は以上でございませう。補足があれば事務局よりお願いします。

加藤教育部長

令和4年度に南粕谷小学校に先行導入を予定しており、令和12年度までに全小中学校に導入予定としています。

議長

南粕谷小学校には、既に「かすやっ子協議会」というものがあるとお聞きしています。南粕谷小学校での取組や課題についてお伺いしたいと思います。

石井委員

「かすやっ子協議会」は、南粕谷小学校と地域の連携強化を目的に平成21年に発足しました。コミュニティ会長が座長となって、メンバーは地域、学校、保護者の代表で、学期に1回の情報交換の会議をしています。発足当初、「かすやっ子協議会」で学校ボランティアを募り、会議で得た情報を基にボランティアが学校に出向くという方法を取っていましたが、年々、学校のニーズやタイミング等に合わせる事が難しくなり、学校が直接個人にお願いをするという状況が課題となっています。また、南粕谷小学校では余裕教室を利用して、地域文庫と生涯学習ルームがあります。歩いて行ける場所で本が借りられるという便利さと、地域住民が学びの場所として学校に行くことで、学校が身近な場所に感じられるようになっていきます。生涯学習ルームは平成10年、地域文庫は平成13年に開設しました。ここを利用する方たちが、放課後子ども教室の支援をしたり、小学校のゲストティーチャーとなったり、子どもたちとの交流を深めてきました。最近では新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が休止され地域住民のモチベーションが下がり、解散の声も聞かれるようになったのが現状です。今後ボランティア登録をしてくれた方や学校に出入りしていただいている方たちの活用の方法を考える必要があると感じています。

議長

ありがとうございました。南粕谷の「かすやっ子協議会」のような会議体は、ほかの地区にはないと思いますが、これから知多市全域への展開するにあたり、コミュニティ・スクールの委員の構成などについては、どのように考えていますか。

石井委員

定数及び報酬については、各市町の実情に合わせて教育委員会が定めることとなっております。資料1の参考資料2「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の体制（案）」をお願いします。「1の委員」をご覧ください。委員の定数は、各地区の地域差や知多市全域への展開のことを考慮し、10名以内とします。委員の報酬については、現在検討中です。詳細については、事務局より説明させます。

加藤教育部長

委員の報酬については、現在市内で調整中ですが、近隣の自治体を参考にしながら会議1回につき、3,800円で検討しています。

議長

今ある制度を上手に移行して、地域の負担を増やすのではなく、お互いにとって良い環境ができるといいと思います。この制度の導入に伴ってどのような効果が期待されますか。

加古委員

教育委員会としては、地域と学校のつながりが今の学校評議員制度よりもさらに強くなると考えています。学校評議員制度は3名だけですし、地域における学校への関心がより高まり、子どもたちを地域でみていくという環境ができると思います。今でも、様々な体験活動や登下校の見守り、伝統芸能の継承などの役割を担っていただいていますし、南粕谷ハウスのような子どもたちの居場所として、地域の方々との交流を行って成果を上げている地域もありますので、そういった活動がほかの地域にも広がっていくようになることが一番の効果であると考えています。

もう一つ学校側からの視点でいうと、校長や教頭の異動があっても、こういった組織があると、地域とのつながりのある環境を継続していけるといった点があげられると思います。このあたりは、学校運営の経験のある教育長に補足していただければと思いますが、地域で子どもたちを育てていくということが最大の効果であろうと思います。

議長

ありがとうございました。教育長何かございますか。

教育長

学校に関わりのある方で、保護者はある程度学校のことは知っていると思いますが、なかなか個人としては意見が言いづらいのではないかと考えています。また、地域の方は、普段の子どもたちの姿や学校での活動について興味はあると思いますが、直接関係がないので、なかなか入りづらいところもあると思います。学校が地域の活動の拠点となるということを考えると、いろんな方が学校に関わって、将来の地域を担っていく子どもたちを育てていくこと、保護者だけでなく、地域の方が関わっていただくということが効果だと思っています。導入にあたって課題も出てくると思います。スタートにあたっては、地域も教職員も負担が増えると思いますが、その辺を上手にすり合わせていくと、その後は軌道に乗ると思います。また、学校の管理職は3年ほどで異動しますので、新しい教員が赴任した際に地域との関係づくりを1からやるのではなくて、こういった組織があるとすぐに入っていけるといこともメリットだと思います。

議長

ありがとうございます。市では、令和2年3月に策定した「第6次知多市総合計画」の中で学校・家庭・地域が連携して子どもたちの学びを支える仕組みとして地域学校協働本部とコミュニティ・スクールを一体で整備することを明記しています。コミュニティ・スクールについては、これまでご説明をいただきましたが、地域学校協働本部についても伺いたいと思います。

石井委員

地域学校協働本部については、生涯学習課が中心となり、教育委員会と協議しながら進めています。学校と地域のつなぎ役である「地域学校協働活動推進員」を選出し、コミュニティ・スクールに合わせて来年度からの運用に向けて具体的な検討に入っています。地域学校協働本部について、現状を事務局より説明させます。

石川生涯学習課長

資料1の参考資料3「知多市が目指す地域学校協働本部について」をご覧ください。1の現行制度について、本市では、平成28年度から生涯学習地域推進員制度と学校支援ボランティア制度を実施し、地域と学校の円滑な連携を目指しておりますが、現行制度では、任期が短くノウハウが蓄積しない、ボランティアとの連絡調整等、学校側の負担が大きいなどの課題があります。そこで、課題を改善し、組織的・継続的に地域と学校が連携・協働できる仕組みを再構築するため、地域学校協働本部事業を実施します。

2の地域学校協働活動と地域学校協働本部について、地域学校協働活動とは、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して行う様々な活動を指します。本市の地域学校協働本部では、「地域学校協働活動推進員」を中心に、様々な地域学校協働活動のうち、地域での職場体験学習やふるさと学習などの「地域課題解決型学習」、登下校の見守りや環境整備などの「学校に対する多様な協力活動」、「地域の行事等への参画」の3つに特化して実施します。「地域学校協働活動推進員」は、地域住民等と学校を結ぶコーディネーターの役割を担う方で、社会教育法に基づき、教育委員会が委嘱します。主な役割として、地域と学校の実情に応じた活動の企画・立案、関係者との連絡・調整、ボランティアの募集・確保などが挙げられます。また、資料の右下の知多市地域学校協働本部の概略図のとおり、本市の地域学校協働本部は、統括コーディネーター、「地域学校協働活動推進員」、地域コーディネーター、ちたっ子ボランティア等事業の目的に賛同する方々で組織し、地域と学校の連携を図ってまいります。

説明は以上です。

石井委員

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業をより実りのある事業として進めていくために、拠点となる場所の整備や事務機器等の購入が必要になります。新型コロナウイルス感染症の影響で、財政面で大変厳しいことは承知しておりますが、よろしく願いいたします。

議長

ありがとうございます。教育長から何か補足等ありますか。

教育長

さきほど委員から説明がありましたとおり、各コミュニティ・スクールで委員を10名以内とする委員報酬の予算、さらに、活動するにあたっては備品や消耗品などが必要になってきます。また、現在は生涯学習課が市長部局にありますので、健康文化部と教育委員会との連携が円滑に図れるようお願いいたします。

加古委員

体制について、是非取り組んでいきたいことがあります。

議長

お願いします。

加古委員

資料1の参考資料2で委員の選定について、「委員の推薦にあたっては、男女比のバランスを考慮した任用に努めることとします。」とありますが、委員の構成例のようにコミュニティ「会長」やPTA「会長」というような職を指定すると、男女のバランスを取りにくいことが考えられるので、ここをコミュニティ「代表」やPTA「代表」というような、男女比に配慮した任用に教育委員会として努めていきたいし、それぞれの学校においても委員を推薦する際に考慮していただきたい。こういった地道な活動の機会の提供がその後の活躍につながっていくと思います。

議長

今の体制（案）のところでコミュニティ「会長」となっており、委員の選定については、「委員は充て職」となっております。現在のコミュニティの役員を見ましても、女性は一人もいません。こういった組織を地域にお願いする際に、なかなか個人を指して依頼するのは難しい現状があります。そういったことを考慮すると「会長」とさせていただいた方が、スムーズに決まるのではないのかなと事務局では考えているのではないのかと思います。ご意見は重く受け止めまして、検討させていただきます。

議長

コミュニティ・スクール導入に向けて教育委員会と連携して、取り組んでまいります。議題の（１）コミュニティ・スクールについては、これで終わらせていただきます。それでは、議題の（２）「G I G Aスクール構想について」に入らせていただきます。議題の（２）「G I G Aスクール構想について」ですが、市としても電子黒板や、一人1台のタブレット端末の整備をするなどしていますが、教育委員会から説明をお願いします。

腰嶋委員

資料2「G I G Aスクール構想について」をご覧ください。

1のG I G Aスクール構想とは「個別最適化され、創造性を育む学び」を実現させる国の取組で、主に「一人1台のタブレット端末」と、学習ツールなどのクラウド活用を前提とした「高速・大容量ネットワーク環境」を学校に整備する計画です。

2の知多市学校教育情報化推進計画は、国の「G I G Aスクール構想」に伴い、本市における学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画として教育委員会で令和3年3月に策定しました。

3のI C T環境整備の現状についてですが、（１）学習用タブレット端末の整備では、令和2年度に一人1台タブレット端末、7,540台を市に整備していただき、（２）電子黒板整備では、2年度・3年度で計312台の整備、（３）I C T支援員等の配置では、現在15校でG I G Aスクールサポーターを3人配置、（４）モバイルルーター整備では、今年度2学期からは全校でタブレット端末の持ち帰りを開始し、通信環境のない世帯へ貸出し、（５）授業支援ソフト及び学習用ドリルの導入について、12月末までの導入に向けて取り組んでいただいております。

4の今後の計画については、（１）I C T支援員の配置、（２）校務支援システム更新、サーバー一元化とは、各校のサーバーをデータセンターに一元化し、学習系と校務系データを連携させ、教育ビッグデータを活用したエビデンスに基づく指導、評価ができる環境を構築する必要があります。

2ページをお願いします。

校務系と学習系データの連携・活用についてです。国のG I G Aスクール構想に掲げる目標ですが、「多様な子どもたちを『誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び』の実現」としてしています。これに伴う教師への期待として、学習履歴や生徒指導上のデータ、健康診断情報等をI C Tの活用により蓄積・分析・利活用しつつ、児童生徒の興味・関心や悩みなどを見取り、個々の状況を踏まえて指導することが可能となります。また、児童生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を最適化することができるように促していくことで、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図ります。また、校務

系・学習系データの連携・活用により実現を目指すこととして、①生活面における指導の充実では、虐待情報や発達障害による特性、健康診断等の児童生徒個々のデータを一元化することで、早期予防や早期支援を組織的に行うことが可能となります。②学習指導の充実では、子ども自身が自らの学びを振り返られるように支援し、学習履歴を基にして、児童生徒個々へ指導・助言を行うことで、保護者への納得性・具体性のある説明が可能となります。

5の今後の課題と取組についてです。課題が太字、それに対する取組を黒点で記載しています。(1) ICT支援員の継続配置、(2) ICT活用指導力の向上、(3) 情報モラル教育指導、(4) ICT機器継続管理への多額の費用負担、をそれぞれ挙げています。説明は以上でございます。

事務局から補足があればお願いします。

加藤教育部長

ありません。

議長

ありがとうございました。いくつか課題もあげられました。ICT機器の整備が急速に進みましたが、学校現場ではどのような状況なのか伺いたいと思います。

山田委員

ICT機器の充実の前後で、学校訪問をしました。2学期以降の児童生徒の活用の進歩は、目を見張るものがありました。ただ、膨大な学習指導内容を効率よく実現するためには、まだまだ教師の方の活用方法に課題があるのではないかと思いました。中学校の教員は、限られた教科での指導なので、準備も時間がとれてICTの活用についても充実した授業となっていますが、小学校の教員は多教科ですので、授業の準備の時間の確保が難しく、学習教材の提示くらいで終わってしまっています。せっかく、十分な機材を入れていただいたので、活用できるようにしていきたいと思います。そのためには、さらなる人的支援が必要となります。

議長

ありがとうございます。全国的にもICT機器の導入が進んでいる中で、タブレット端末を使ったいじめの報道がありました。制度としてはとても素晴らしいことだと理解していますが、一方で難しい問題があるように感じています。これからのGIGAスクール構想を進めていく上で、どのような課題がありますか。

腰嶋委員

教育現場では、一気にICT機器が整備されたことで、物品やアカウントの管理、児童生徒への情報モラル指導などの業務が増え、負担に感じている教職員がいます。児童生徒

の情報活用能力を向上させ、個に応じた学習指導を行うためにも、現場でのサポート人材としてICT支援員の増員配置が望まれています。また、ICT機器は、必ず何年かには一度は、更新が必要になります。令和4年度に計画されている校務支援システムの更新や学校サーバーの一元化も含め、今後、GIGAスクール構想関連経費として経常的に年間約1億7千万円かかると聞いています。教育用端末のバッテリー交換や端末更新時期には更に費用がかかることとなります。ICT機器は整備したら終わりではなく、継続管理するためには、多額の費用がかかります。学校現場ではICT活用に向け多くの研修等に取り組んでおりますので、是非必要な経費に対し継続的な予算措置をお願いします。

議長

現状と課題がよくわかりました。費用負担については、市長会として国や県に対して要望しています。ICTの導入については、国からの指示で急速に整備を進めましたが、あとの維持管理を各自治体で実施すると言われてもなかなか厳しい現状があります。自治体の財政力の差により、子どもたちの教育に差ができてはいけないので、今後も国に対し支援してもらおうように引き続き要望していきます。せっかくの良い仕組みが中途半端になって、活用されなくなってしまうようなことがあってはいけないと考えております。

最後に教育長何かございますか。

教育長

タブレット端末や電子黒板の整備をいち早く実施していただきありがとうございます。学校現場では、各階に1台の電子黒板しかなかった頃と比べると、格段に活用する場面が増えました。電子黒板に付随して、デジタル教科書も導入していただいていますので、活用しているところです。先ほど委員方から話がありましたが、タブレット端末についても保守をしていかないといけないし、一定の期間が来ると更新しなければいけない。通信データが大きくなってくれば大きくなっていくほどアクセスポイントの増設などが必要になります。タブレット端末を入れていただいてすぐの頃は、40人が一斉にアクセスするとデータのやり取りに時間がかかり、1時間の授業の半分ほどの時間でタブレット端末がフリーズしてしまうこともありました。そういうことになると子どもたちの活用はできないし、教員の方も「結局使えない」と判断してしまう。デジタルでいろんなデータがすぐ手に入り、動作もスムーズであれば、魅力的なものでありますので、そういった環境を整えるところにも費用がかかります。

また、4年に1回教科書改訂がございます。小改訂のことが多いですが、学習指導要領の改訂にあると大改訂になります。子どもたちの持っている紙の教科書の改訂に合わせてデジタル教科書も改訂されます。「デジタル教科書は以前導入したじゃないか」ということでは使えなくなってしまうので、教科書改訂の際には費用が掛かってきます。お

金のことばかりお願いし申し訳ありませんが、こういった状況がありますのでご支援いただければと思います。

加古委員

関連して少しよろしいでしょうか。

議長

お願いします。

加古委員

今年度、学校訪問に4校行きましたが、学校により、取り組み方に違いがあるように感じました。要因としては、今はまだ導入期ですから各校の取組方針や資料にある「エバンゲリスト」という各校のICT教育推進者の取り組み方に差があると思います。

現在は、ICT支援員が15校で3人、1人あたり5校を担当しています。このICT支援員は各学校にとって情報化の推進には非常に重要で、教職員を支援するとともに、学校訪問では子どもたちに使い方を指導している場面も見られました。ICT支援員は市内の学校を巡回していますから、進んでいる学校の取組を他校に紹介するなど市内全体の情報化に貢献してもらえると考えております。市長が先ほどおっしゃったように、住んでいる市町の財政力によって受けられる教育環境に差がでないよう、すぐには難しいかもしれませんが、支援員の増加をお願いしたいと思います。

議長

ありがとうございます。市としても、子どもたちができる限り良い環境で教育を受けられるようにしっかり取り組んでまいります。

教育長

さきほど、市長が心配していらっしゃったタブレット端末を使ったいじめに関してですが、サーバーを一元化していくにあたってシステムの導入を検討しておりますので、事務局から説明させます。

山本統括主任

令和4年9月からのサーバー一元化に伴いまして、校務支援システムの更新をいたします。その中で、「スクールライフノート」というタブレット端末を使って、子どもたちが、自分の気持ちを「心の天気」で表すようなシステムの導入を予定しております。子どもたちの心の声を先生たちが一覧で見ることによってその変化を早く捉えて、子どもたちとのやりとりができるような仕組みづくりを進めていきたいと考えております。

議長

教育長からも以前教えていただきまして、「若あゆ日記」のような子どもと先生がコミュニケーションを取れるようなシステムだと聞いています。今でも「若あゆ日記」はあるのでしょうか。

教育長

今でも中学校にはございます。中学生は「若あゆ日記」で対応できると考えていますが、小学生ですと文字で起こすよりタブレット端末で自分の気持ちを天気で表す方法があれば簡単で、教職員側も一覧ですぐにわかるのではないかと考えています。

市長

文章で伝えられなくても、シグナルで発信できるだけでも先生たちに察知していただければと思います。より良い、環境整備をしっかりと実施していただければと思います。

それでは、議題の(2)「GIGAスクール構想」につきましては、これで終わらせていただきます。

最後に何かご意見など、ございますか。

腰嶋委員

学校訪問で現場の先生方とお話する機会がありました。その中で、現場の先生方はICT機器の活用に苦慮している印象でした。導入当初のこの時期にきちんとした支援をしていただけると、軌道に乗りやすいのではないかと思います。すぐには難しいかもしれませんが、ICT支援員の増員を是非お願いいたします。

山田委員

コミュニティ・スクールと地域学校協働本部は、当面は今ある活動を再編成するような形で始めていくことになると思います。私の地元である岡田では、お祭りに関する活動を小学校の授業に取り入れていただいています。歴代の校長先生たちにご理解いただき、祭りの担い手を講師に招いて実施していただいています。これまでの校長先生方には、ご理解いただいておりますが、これから異動があった場合に「もうやらない」となるような可能性があるところを、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部のような活動があれば、脈々と続いていくようになると地域としては大変助かります。一方で、伝統的な活動がないような地域では、こういった組織を構築することがなかなか難しく、形ばかりになってしまうのではないかと思います。そうした中で、学校側の立場に立つと成果を求められた場合に困るかもしれません。そういった状況を踏まえながら、長い目で見て導入を進めていく必要があると思います。制度が進めば、子どもたちが地域に根差した考え方・生き方ができるのではないかと期待しています。

石井委員

かすやっ子協議会のような長年続いている組織でも、目をつむって見過ごしているようなところも多々あるように感じています。このコミュニティ・スクールが地域に舞い込んできたことによって、地域の見直しのきっかけにもなっています。地域としては、その点で期待が持てると感じています。

教育長

コミュニティ・スクールについては、現在、コミュニティの青少年部会やおやじの会のような組織、登下校の見守り隊や伝統芸能を教えてくれるボランティアの方々などに活動していただいておりますが、単発でそういった組織や活動があってもなかなか継続して組織化されていかない現状があります。活動それぞれを、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業で組織化していくと、より連携が取れて機能的になるのではないかと期待しています。最初は、調整に苦慮することが考えられますが、軌道に乗っていけば良い制度になるのではないかと思いますので、いろいろとご支援いただければと思います。

議長

ご熱心なご協議をいただき、ありがとうございます。以上で、内容をすべて終わりましたので、本日の総合教育会議を閉会させていただきたいと思っております。

これをもちまして、令和3年度第1回知多市総合教育会議を閉会いたします。